



看護師20年・3人の子育てお母さん

# 藤田りょうこ

日本共産党都議予定候補 事務所ニュース

No.3 2016年9月13日

## 「だれもが安心できる医療へ。看護 師増員を」国際医療シンポジウムに参加

9月6日（火）、日本医  
労連は永田町星陵会館で  
「看護師の夜勤交代制労働  
の改善を目指す国際シンポ  
ジウム」を開催。藤田りよ  
うこ都議予定候補が参加し  
ました。

藤田りょうこ都議予定候補  
「私は病棟、手術室、救急  
外来、訪問看護などで働い  
てまいりました。とりわけ  
病棟は忙しく、夜勤におい  
ても残業が多くありました。  
夜勤は看護師一人で20名前  
後の患者さん



国際医療シンポジウム会場で。医労連の中野委員長（左）らと。

を受け持ちま  
すが、夜中に  
一度も座れな  
いこともあり  
ます。特に認  
知症の方は夜  
間活動的にな  
る方が多く、  
足を骨折し歩  
けないのに歩  
いて転んだり、  
必要な点滴の  
チューブを自  
分で抜いたり、  
夜になると覚  
醒し“自宅に  
帰る！”と興

奮したりします。

大学病院であろうが療養  
病院であろうが、患者さん  
の安全を守るためには看護  
師が必要です。『看護師1  
人に対し4人を超えて患者  
が1人増えると、患者の死  
亡率は7%増加する』とい  
う国際的エビデンス（証拠）  
があります。医師不足はもつ  
と深刻です。

引き続き『夜勤交代制労  
働の改善を求める国会請願  
署名』に取り組み、改善の  
為に力を尽くしたい、と思  
います。



9月11日、蒲田民商婦人部の総会にて



大田民報

2016年9月号外  
大田民報社 北馬込1-4-12 佐藤方

日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。

連絡先

〒144-0051 東京都大田区西蒲田6-34-7  
Tel 03-5703-2544 Fax 03-3735-4522  
URL <http://j-yamamoto.jcp-ota.jp/>  
Mail [j-yamamoto@jcp-ota.jp](mailto:j-yamamoto@jcp-ota.jp)

# わたしも応援します！

大田区在住 坂井和歌子

出会いは5年前。大田区に住む新婦人の同世代のメンバーという事で、藤田りようこさんを含む4人がはじめて顔を合わせました。自己紹介からはじめて、子育てのこと、仕事のこと、人間関係など話がつきず、夕方まで話し込んだものでした。

この4人で立ち上げた「新婦人つながるカフェ」は、5年たった今では20〜30人が集まるママたちの大切なつながりとして発展しています。

季節ごとにバーベキューやキャンプなど、家族ぐるみでつながれるイベントを有志で楽しみ、放射能や保育問題の署名活動にとりくんだり、区議会傍聴や、ママ弁護士を講師にした「憲法カフェ」などなど、これまで政治には関心がなかったママたちも一緒に学び、行動を広げてきました。

りようこさんは、人の輪のなかでいつも率直に自分の気持ち語り、初めてのこともどっしり構えてチャレンジする人で



坂井和歌子さん(左)と藤田りようこ

す。体力も行動力も抜群で、子どもを連れてどこにでも出かけていく、本当に頼れるパワーの持ち主。あるママが自分の悩みを話していた時は、うなずきながら最後まで相手の話を聞き、言葉を選びながら大切なことを伝える姿が印象的でした。

りようこさんが都議候補になることを決意したと聞いた時には、飛び上がって喜びました。上から物を押し付けようとするいまの自民党政治に、仲間をつくり物おじせず立ち向かって行く、りようこさんのような人が必要です。私たちの声をまっすぐに届けてほしい。

私も一緒にがんばります。

## 《今後の日程》

※宣伝は雨天中止(又は変更)の場合有

○13日(火) 朝宣伝 7時30分~8時

JR蒲田駅西口

○14日(水) 朝宣伝 7時30分~8時

六郷土手駅

○15日(木) 朝宣伝 7時30分~8時

久が原駅

午後6時30分~ 原水禁世界大会報告会



9日(金) 六郷地域で訴える藤田りようこ都議予定候補

## 〈藤田りようこ 成長記③〉

オムツをとる練習を初めて1カ月余り、オマルでおしっこができました。毎回上手に「おしっこ」と言えるようになってくると、今度は夜でもオムツでおしっこができません。そのたびにエーンエーンと泣いて私を起こします。

ほとんどおもらししない手のかからない子どもでした。

(母 沢井正代)



オムツも取れた2才。10月の京都で